

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2025年11月17日(月)～23日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに目を向け、みことばによって主を食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
『みことばの光』は一冊(一ヶ月) 430 円(注文は栗原弥希姉まで)。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしながら、おやすみなさい。

今週も「エレミヤ書」から学びます。エルサレム、南ユダが陥落してからの話です。

11月17日(月) 本日は貝塚聖書教会で福音交友会実行委員会(牧師会)が行われます。

今日の聖書日課：エレミヤ 42：1～22

私は今日、あなたがたに告げたが、あなたがたは、自分たちの神、主の御声を、すなわち、主がそのために私をあなたがたに遣わされたすべてのことを聞こうとしなかった。

エレミヤ 42：21

バビロンの王がユダの人々の総督としたゲダルヤを殺したイシュマエル。そのイシュマエルを結果的に追い払ったヨハナン。このヨハナンがユダの民を連れてエジプトに行こうとしていたとき、ヨハナンたちはエレミヤに主のことばを求めました。「それが良くて悪くても」聞き従う、と約束して。主はエレミヤを通して「エジプトへ行ってはならない」と言われました(19)。その預言の続きが冒頭の聖句。なんとエレミヤはこの主のことばを語る前に、あるいは語っている途中で、彼らがこの「エジプトへ行ってはならない」という命令に聞こうとしないことを知っていたのです。エレミヤはこの期に及んでも、素直に聞かない民に対して語らなければならなかったのです。

11月18日(火)

今日の聖書日課：エレミヤ 43：1～13

ホシャヤの子アザルヤ、カレアハの子ヨハナン、および高ぶった人たちはみな、エレミヤにこう告げた。「あなたは偽りを語っている。私たちの神、主は、『エジプトに行ってそこに寄留してはならない』と言わせるために、あなたを遣わされたのではない。」

エレミヤ 43：2

「それが良くて悪くても、…主の御声に聞き従います。」(42：6)と約束したヨハナンたちでしたが、エレミヤが主のことばを語ると、冒頭の聖句のように答えました。彼らは、自分たちの効きたいことばをエレミヤが語らなかったので、主のことばを否定しました。笑ってしまいます。が、これと同じことを私たちもしてはいないでしょうか？

11月19日（水） 本日は祈祷会の日です。

今日の聖書日課：エレミヤ 44：1～30

私たちは、私たちの口から出たことばをみな必ず行って、私たちも父祖たちも、私たちの王たちも首長たちも、ユダの町々やエルサレムの通りで行っていたように、天の女王に犠牲を供え、それに注ぎのぶどう酒を注ぎたい。私たちはそのとき、パンに満ち足りて幸せで、わざわざいにあわなかった。

エレミヤ 44：17

主がなぜ、ユダの民をエジプトに行かないように命じられたそのわけが 44 章で明らかにされています。すなわち、エジプトの偶像に彼らが心を向けることがないように、ということ。エレミヤの語る主のことばに従わずエジプトに行ったユダの民は、そのとおり、エジプトの地で「天の女王」に犠牲を供えました。冒頭の聖句は彼らのことばです。「正気か？」と言いたくなりますが、これが彼らの現実でした。これらのことは、かつてエルサレムでも行われていたのです。いわんや、偶像のお膝下では、そうなるに決まっています。

主の警告でエレミヤ書の中の物語部分は終わります。

11月20日（木） 本日は木曜婦人会が行われます。

今日の聖書日課：詩篇 87：1～7

主が「この者は この都で生まれた」と記して 国々の民を登録される。 セラ

詩篇 87：6

エルサレムといえばイスラエルの都。しかしやがてエルサレムに「国々の民」：異邦人が、世界中の人々が登録される、とされています。主はイスラエルの神。しかし、この主は世界の主。世界中の人々が、「歌う者も 踊る者も 『私の泉はみな あなたにあります』と言う」（7）のです。

11月21日（金）

今日の聖書日課：詩篇 88：1～18

主よ 私の救いの神よ 昼 私は叫びます。夜もあなたのみそばで。

詩篇 88：1

詩人は主に叫びます。叫び続けます。苦しみの中で。そしてこの 88 篇には解決がありません。「あなたは私から愛する者や友を遠ざけられました。私は暗闇を親しい友としています。」（18）。これで終わり。なんと歯切れが悪い。しかしこれが 88 篇のメッセージ。そうです。詩人はこれからも叫び続けるのです。主のみそばで。主が答えてくださるまで。

11月22日（土）

今日の聖書日課：エレミヤ 45：1～5

あなたは、自分のために大きなことを求めるのか。求めるな。見よ。わたしがすべての肉なる者に、わざわざを下そうとしているからだ。一主のことば一。しかしわたしは、あなたが行くどこでも、あなたのいのちを戦勝品としてあなたに与える。』

エレミヤ 45：5

「求めるな」。ええ？！「求めなさい」ではないの？「求めるな」それは、「自分のために大きなこと」を「求めるな」。ということ。本当に求めるべきことは何なのか？「求めるな」から、教えられるのです。

11月23日（日） 礼拝説教箇所：マタイ 7：28～29「キリストの権威の下にある幸い」

鍛冶直紀兄が説教してくださいます。みことばに期待しましょう。栗原牧師は早朝礼拝と和歌山聖書教会礼拝で説教します。お祈りください。